

学習目標（「身につけたい力」）
 ・実践的、体験的な学習活動を通し、生活の自立に必要な衣・食・住に関する基礎的な知識と技術を習得して、家庭の機能についての理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を身に付ける。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
時数	年間35時間	年間35時間	年間17.5時間
1学期	<p>A（1）ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活のかかわりについて考えます。 ・中学校家庭科の学習内容を確認します。 <p>A（1）家庭と家族関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や家族の基本的な機能について考えます。 ・中学生としての自立を考えます。 ・家庭生活と地域との関わりを考えます。 <p>C（1）衣生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の働き、目的に応じた着用を考えます。 ・T. P. Oを踏まえた自分らしい着方を工夫します。 ・和服の文化を知り、和服のT. P. Oを考えます。 ・和服と洋服の構成の違い、浴衣の着方を学びます。 ・衣服の計画的な活用方法を考えます。 ・必要な衣服の選択方法について考えます。 ・衣服の手入れの必要性を理解します。 	<p>B（1）食生活と栄養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割や健康に良い食習慣について学習します。 ・栄養素の種類と働き、中学生に必要な栄養の特徴について学習します。 ・食品に含まれる栄養素を調べ、何をどの位食べればよいかを考えます。 ・6つの食品群、食品群別摂取量の目安について学習します。 <p>B（2）献立作りと食品の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バランスの良い食事について、献立を考えたときの条件や献立作りの手順について考えます。 <p><課題と実践> 夏休みの課題</p>	<p>A（2）幼児の生活と家族</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼い頃を振り返ります。 ・幼児の体の発達について学びます。 ・幼児の心の発達について学びます。 ・幼児との関わり方を考えます。 <p><実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の喜ぶおもちゃを製作します。

<p>2 学 期</p>	<p>C (3) 生活を豊かに するために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた作品を製作します。 <p><基礎技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・手縫い ・ミシンの名称と操作の方法 <p><製作></p>	<p>B (3) 日常食の調理と 地域の食文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品と加工食品の特徴や食品の表示について学び、食品の選択と購入について学習します。 ・食品の保存と食中毒の防止について理解します。 <p><調理実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉の調理をしよう ・魚の調理をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食文化について学習します。 ・よりよい食生活を目指して、食品の安全、食糧自給率、食品の輸送とエネルギー、食生活とごみについて考えます。 <p><課題と実践> 冬休みの課題</p>	<p>A (3) 幼児の生活と家族 <実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の喜ぶおもちゃを製作します。
<p>3 学 期</p>	<p>C (2) 住生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割と住まい方について考えます。 ・住まいの安全について考えます。 ・災害に備えた住まい方について考えます。 ・健康で快適な室内環境を考えます。 ・よりよい住生活を目指すことについて考えます。 	<p>D (1) 家庭生活と消費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者としての自覚について考えます。 ・収入・支出とお金の管理について学習します。 ・売買契約について考えます。 ・販売方法と支払い方法について理解します。 ・商品の選択と購入について考えます。 ・消費者トラブルを解決する方法を学びます。 ・消費者の権利と責任について考えます。 ・よりよい消費生活を目指すことについて考えます。 	<p>A (3) 幼児の生活と家族 <実習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとっての家族について考えます。 ・私達と家族との関わりや、家族関係をよりよくすることについて考えます。

		D（2）家庭生活と環境 ・環境に配慮した消費生活について考えます。 ・エネルギー消費を減らす方法を考えます。 ・持続可能な社会を目指すことについて考えます。	
--	--	---	--

評価の観点と評価内容の予定

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
主な 評価 方法 と その 内容	全 学 年 共 通	○完成作品 ○プリント ○提出物（ワークなど） ○定期考査	○道具の使い方 ○プリント ○提出物（ワークなど） ○完成作品 ○定期考査	○授業観察（授業への取組み） ○発言・発表 ○プリント ○提出物（ワークなど） ○完成作品 ○定期考査

学年・学期・分野により使用する評価内容や重み付けが異なる場合があります。

※ 技術分野と家庭分野の先生がそれぞれ評価し技術・家庭科として成績を付けます。